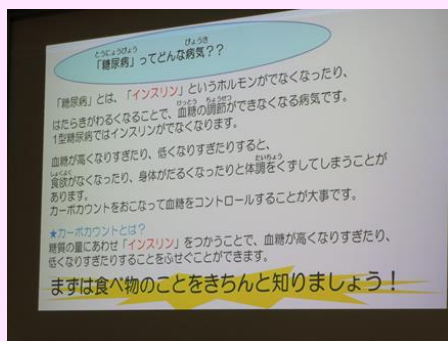


第45回岡山小児糖尿病サマーキャンプに 学生が参加しました



7月30日（日）～8月1日（火）4年ぶりとなる岡山小児糖尿病サマーキャンプが開催され、当校の学生がボランティアとして参加しました。カレー作り、キャンプファイヤー、岡山市水道記念館施設見学などの活動をとおして子どもたちと心を通わせ、貴重な経験ができた3日間でした。



【参加した学生の感想】

2泊3日の小児糖尿病サマーキャンプに学生ボランティアとして初めて参加しました。

はじめはキャンパーと良い関係がもてるか、自分が疾患理解に不安があるため、キャンパーにどこまで聞いていいんだろうか、と手探りでコミュニケーションをとりました。

キャンパーからは「（注射など）やろうと思っていたのにいちいち言ってこないでほしい」「学校の先生たちに糖尿病について色々聞かれるのが嫌」「CGM（持続血糖測定）の音が鳴った時周りが大袈裟にするのが嫌」といった普段言えないリアルな声を聞くことができました。これらをもとに、 今後は発達段階とも関連させ糖尿病の方と関わる際には接し方などに注意し、病気ではなく対象をみることに重きを置こうと感じました。

はじめは人見知りをしていたキャンパーとも3日目にはしっかりとコミュニケーションをとることができ、沢山のキャンパーと関わり、多くの学びの中過ごすことができました。これらの経験を今後に活かし、理解を深められるよう勉学に励みたいと思います。

